

エコアクション21

環境活動レポート

対象期間：2018年 12月 1日 ~ 2019年 11月 30日

(廃棄物処理業者向けガイドライン2009年版対応)



発行 2020年 3月 16日
改定 2020年 6月 22日

株式会社 ワラケン

目次

	ページ
I、組織の概要	1
(1) 組織概要に関する情報	1
(2) 許可内容・許可一覧	2
(3) 処理実績	3
(4) 保有車両、保有施設	3
II、対象範囲（全組織、全活動）	3
III、実施体制	4
IV、環境方針	5
V、環境目標	6
VI、環境活動計画	7
VII、環境目標の実績	7
VIII、環境活動取組結果の評価と次年度の取組内容	8
IX、環境関連法規等への違反、訴訟等の有無	9
X、代表者による全体の見直し	9

I、組織の概要

(1) 組織概要に関する情報

- 1、事業所名 株式会社ワラケン
- 2、代表者名 代表取締役 青山 繁夫
- 3、所在地
本社 〒457-0068
愛知県名古屋市南区南野3丁目265番地
TEL:052-611-5847
FAX:052-611-6563

東濃事業所 〒507-0812
岐阜県多治見市下沢町3丁目17-3
TEL:0572-25-7244
FAX:0572-23-1682

多治見第一 〒507-0811
トランクルーム 岐阜県多治見市星ヶ台1丁目44-1

多治見第二 〒507-0812
トランクルーム 岐阜県多治見市下沢町4丁目68-1
- 4、環境管理責任者氏名 高木 透
連絡先 TEL:0572-25-7244
FAX:0572-23-1682
E-mail: t-takagi@waraken.co.jp
- 5、資本金 1,000万円
- 6、売上高 227百万円（第30期 2018年12月1日～2019年11月30日）
- 7、法人設立 1965年 4月 1日
- 8、事業内容 倉庫業（トランクルーム事業）、産業廃棄物収集運搬業
廃棄物再生事業（古紙回収業）
- 9、従業員数 16名（2019年11月現在）

(2) 許可内容・許可一覧

許可の種類	許可の範囲	許可品目	許可番号	許可年月日	有効期限
産業廃棄物 収集運搬業	愛知県	積み替え保管を除く 廃プラスチック類(自動車等破 砕物及び石綿含有産業廃棄 物を除く。)、紙くず、木くず、織 維くず、金属くず(自動車等破 砕物を除く。)、ガラスくず・コン クリートくず(工作物の新築、改 築又は除去に伴って生じたも のを除く。)、及び陶磁器くず(自 動車等破砕物及び石綿含有 産業廃棄物を除く。)、がれき 類(石綿含有産業廃棄物を除 く。) 以 上7品目	第02300059205号	平成31.3.20	平成36.3.14
	岐阜県	積み替え保管を除く 廃プラスチック類(自動車等破 砕物を除く。)、紙くず、木くず、 繊維くず、金属くず(自動車等 破砕物を除く。)、ガラスくず・コ ンクリートくず(工作物の新築、 改築又は除去に伴って生じた ものを除く。)、及び陶磁器くず (自動車等破砕物を除く。)、が れき類 上記7品目は石綿含有産業廃 棄物であるものを除く。 以上7品目	第02100059205号	平成27.9.20	平成32.9.19
	三重県	積み替え保管を除く 廃プラスチック類(石綿含有産 業廃棄物を除く。)、紙くず、木 くず、繊維くず、金属くず、ガラ スクず・コンクリートくず(工作物 の新築、改築又は除去に伴っ て生じたものを除く。)、及び陶磁 器くず(石綿含有産業廃棄物 を除く。)、がれき類(石綿含有 産業廃棄物を除く。) 以上7品目	第02400059205号	平成27.10.5	平成32.10.4
	静岡県	積み替え保管を除く 廃プラスチック類(石綿含有産 業廃棄物を除く。)、紙くず、木 くず、繊維くず、金属くず、ガラ スクず・コンクリートくず(工作物 の新築、改築又は除去に伴っ て生じたものを除く。)、及び陶磁 器くず(石綿含有産業廃棄物 を除く。)、がれき類(石綿含有 産業廃棄物を除く。) 以上7品目	第02201059205号	平成28.9.21	平成33.9.20
廃棄物再生 事業者登録	愛知県	古紙	第2301150号	平成13.10.16	—

(3) 処理実績

①産業廃棄物収集運搬量・・・ 2018年12月1日～2019年11月30日

廃プラスチック類	16.061 t
金属くず	8.090 t
混合物	159.806 t
木くず	4.450 t

合計 188.407 t

※ 詰め替え保管無し

②古紙回収量・・・ 2018年12月1日～2019年11月30日

合計 1,304.94 t

※ 収集運搬のみで中間処理の実績無し

(4) 保有車両

①運搬車両の種類と台数

産業廃棄物収集運搬車両

車両の種類	最大積載量(kg)	台数
軽ワンボックス	350	1台
バン	1,250	3台
バン	2,000	2台
バン	3,500	1台
バン	4,000	1台
キャブオーバー	2,000	2台
営業車	—	2台

II、対象範囲（全組織、全活動）

- 1) 対象組織 本社
東濃事業所
多治見第一トランクルーム
多治見第二トランクルーム
- 2) 事業内容 倉庫業(トランクルーム事業)
産業廃棄物収集運搬業
廃棄物再生事業(古紙回収業)
- 3) 従業員 正規社員 12人
パート 4人 計 16人
- 4) 環境活動レポートの対象範囲

対象期間: 2018年12月1日～2019年11月30日

発行日: 2019年3月16日

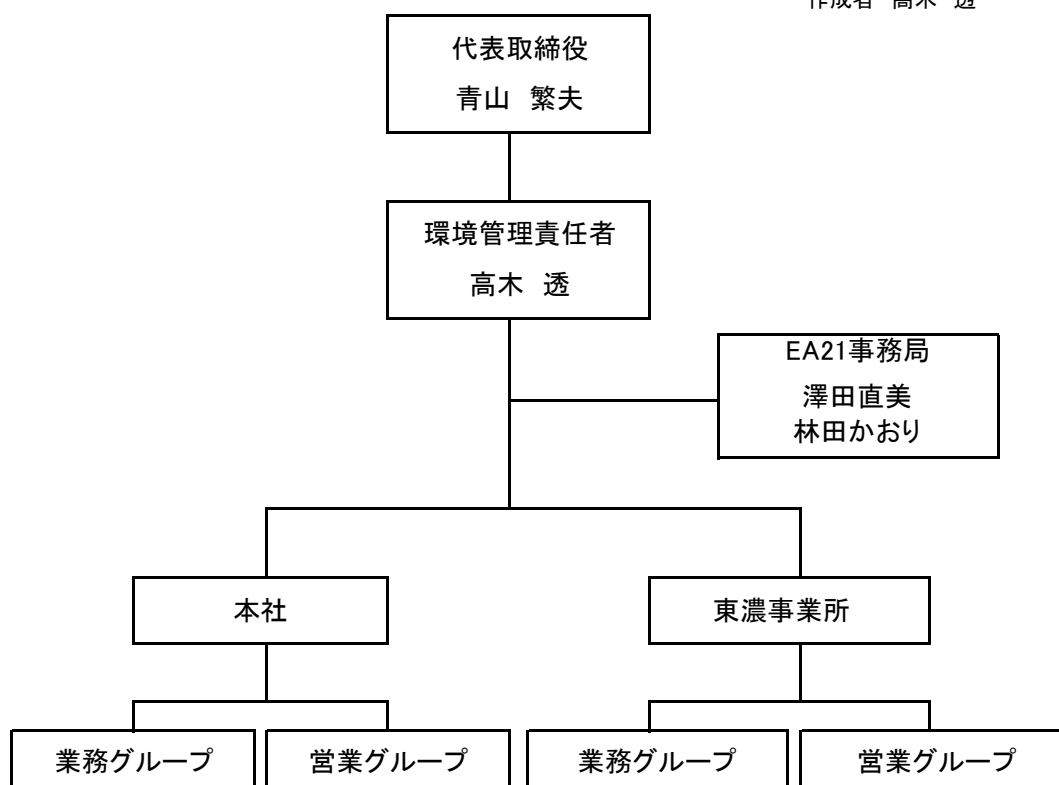
Ⅲ、実施体制

作成日 2015/11/11

1)組織図

更新日 2018/12/1

作成者 高木 透



2)役割・責任・権限

役割	責任・権限
代表取締役 青山繁夫	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の策定 ・環境活動に必要な設備、費用、人材の確保 ・環境管理責任者の任命 ・環境目標及び環境活動計画の承認 ・環境経営システム全体の評価と見直し ・環境活動レポート等文書の承認
環境管理責任者 高木 透	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築及び運用管理 ・環境活動計画書、管理表、環境活動レポートの作成 ・社員への環境意識の教育 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告
EA21事務局 澤田直美 林田かおり	<ul style="list-style-type: none"> ・EA21文書及び記録類の維持・管理 ・環境管理責任者の補佐
全社員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針、環境目標の理解と実践 ・環境活動への自主的、積極的な参加

株式会社ワラケン

環境方針

■ 基本理念

株式会社ワラケンは、資源のリサイクル事業を通し、資源循環型社会の形成及び低炭素社会の構築に率先して取り組むことにより、地球環境負荷の低減とその保全に取り組んで参ります。

■ 基本方針

1. 環境意識の向上

環境教育を通し、全社員の環境保全意識の向上に努めます。

2. 環境負荷の低減

- ① CO2排出量の削減を目指し、電気使用量の削減及び業務車輛の燃費向上に取り組み、化石燃料消費の削減に努めます。
- ② 廃棄物の削減を図り環境負荷の軽減化に努めます
- ③ 水使用量の削減に努めます。

3. グリーン購入の促進

製品やサービスを購入する際に、環境を考慮して、必要性をよく考え、環境への負荷ができるだけ少ないものを選んで購入することに努めます。

4. 環境活動レポートを社内外に公表し、社会とのコミュニケーションを積極的に行います。

5. 事業活動に当り、関連法規制・条例及び顧客の要求事項を遵守します。

制定 平成28年11月1日
株式会社 ワラケン

代表取締役 青山 繁夫

V、環境目標

環境目標・取組みの基本方針

事業活動が環境にどのような影響を与えるのかを把握評価して、環境との関係が大きいと考えられる二酸化炭素排出量削減で、化石燃料の削減(運搬効率の向上)及び電力使用の削減、産業廃棄物の削減及びリサイクル率の向上、水の使用量の削減、グリーン購入の促進を重点に取り行う。

但し、リサイクル率は(総収集運搬量-混合物)÷総収集運搬量の割合(%)として計算、グリーン購入率はグリーン購入件数÷総購入件数×100として計算する。

(1)環境目標の基準 2015年12月～2016年11月(売上 153百万円)を原単位基準数値とする。

自社年度2015年度実績			単位	基準数値
①電力使用量	30839	kwh	kwh/100万円	201.6
②ガソリン使用量	1801	ℓ	ℓ/100万円	11.8
③軽油使用量	14585.2	ℓ	ℓ/100万円	95.3
1、二酸化炭素排出量※1	57784.8	kg-CO2	kg-CO2/100万円	377.7
2、廃棄物排出量※2	16.4	t	t/100万円	0.107
3、水使用量※3	165	m3	m ³ /100万円	0.829
4、廃棄物リサイクル率	34.7	%	%	34.7
5、グリーン購入率※4	243 / 145件		%	59.6
6、地域貢献活動※5	太陽光発電の売電 年間108494kwh			

注)化学物質については該当しないため未記入

※1 二酸化炭素排出係数は中部電力のH26年度0.497kg-CO2/kwhを使用しています。

※2 廃棄物排出量は自社排出産業廃棄物とする。

※3 2017年2月～第1トランクルームの水使用条件が変わったため2017年12月～2018年11月(売上199百万円)を基準とします。

※4 グリーン購入はデータ取りの為2016年12月～2017年11月を基準とします。

※5 地域貢献活動は2018年12月から活動

2015年12月～2016年11月までを基準年として下記の削減目標を設定します。

取組項目	基準値	単位	運用期間	2017年12月～	2018年12月～	2019年12月～	2020年12月～	
			2016年12月～ 2017年11月	2018年11月	2019年11月	2020年11月	2021年11月	
①電力使用量の削減 (年度1%削減)	201.6	kwh/100万円	199.6	197.6	195.6	193.5	191.5	
②ガソリン使用量削減 (年度1%削減)	11.8	ℓ/100万円	11.7	11.6	11.4	11.3	11.2	
③軽油使用量削減 (年度1%削減)	95.3	ℓ/100万円	94.3	93.4	92.4	91.5	90.5	
1、二酸化炭素 排出量削減 (年度1%削減)	原単位	377.7	kg-CO2/100万円	373.9	370.1	366.4	362.6	358.8
	総量	57784.8	kg-CO2	57207.0	56629.1	56051.3	55473.4	54895.6
2、廃棄物排出量削減 (年度1%削減)	0.107	t/100万円	0.106	0.105	0.104	0.103	0.102	
3、水使用量削減 (年度1%削減)	0.829	m ³ /100万円	—	0.812	0.804	0.796	0.788	
4、廃棄物リサイクル率向上 (年度1%増加)	35	%	36	37	38	39	40	
5、グリーン購入の促進 (年度0.5%増加)	59.6	%	データ取り	60.1	60.6	61.1	61.6	
6、地域貢献活動)	太陽光発電による東農エコの木活動 年間108494kwh: 杉の木年間CO2吸収量 5000本分相当							

VI、環境活動計画

1、二酸化炭素排出量削減

①電力使用量の削減

- ・毎月の電気使用量の把握（事務局）
- ・室内温度管理【夏季26℃、冬季22℃】（事務所）
- ・使用場所以外の消灯管理と節電（事務所、倉庫）
- ・エアコンのフィルター清掃を毎月行う（事務所）
- ・消灯推進の掲示（事務局）

②③ガソリン・軽油の使用量削減

- ・エコドライブの推進（全社員）
- ・点検・整備により車両のコンディションを整える（全社員）
- ・走行距離、給油量の記録、把握（全社員）
- ・ルートを選択による効率化（全社員）

2、廃棄物排出量削減

- ・自社排出産業廃棄物は分別の徹底資源化（全社員）

3、水使用量削減

- ・節水への取組強化を促す掲示を行う（事務局）
- ・車両洗車時、手洗いの時の節水【蛇口を開きっぱなしにしない、こまめに開閉】（全社員）

4、廃棄物リサイクル率向上

- ・廃棄物処理依頼受け時に情報提供を行いお客様にも意識をしてもらう（営業）

5、グリーン購入の促進

- ・環境に優しい製品の購入、調達を促進する（事務局）

VII.環境目標の実績

取組事項	基準値	単位	2018年12月～2019年11月(売上高:226百万円)				
			目標	実績	達成率	結果	
①電力使用量の削減 (1%)	201.6	kwh/100万円	195.6	161.77	120.9%	○	
②ガソリン使用量削減 (1%)	11.8	ℓ/100万円	11.4	12.17	93.7%	△	
③軽油使用量削減 (1%)	95.3	ℓ/100万円	92.4	95.42	96.8%	△	
1、二酸化炭素 排出量削減 (1%)	原単位	377.7	kg-CO2/100万円	366.4	359.07	102.0%	○
	総量	57784.8	kg-CO2	56051.3	81151.31	69.1%	×
2、廃棄物排出量削減 (1%)	0.107	t/100万円	0.1040	0.0092	1130.4%	○	
3、水使用量削減 (1%)	0.829	m3/100万円	0.804	0.707	113.7%	○	
4、廃棄物リサイクル率 増加(1%)	35	%	38	15	39.5%	×	
5、グリーン購入率 増加(0.5%)	59.6	%	60.1	58.2	96.8%	△	
6、地域貢献活動	太陽光発電による東濃エコの木活動 年間108494kwh:杉の木年間CO2吸収量5000本分相当						

結果の評価基準:100%以上 ○ 100%未満～80%以上 △ 80%未満 ×

Ⅷ、環境活動取組結果の評価と次年度の取組内容

取組結果の評価

1、二酸化炭素排出量の削減

- ・電気の消灯、空調の調整等こまめにでき、皆で声掛けや意識をもって削減に努めることが習慣化されてきている。
- ・運搬効率の向上については、エコ運転10ヶ条を念頭に安全運転や移動の効率を考え、個人運転の癖を意識し燃料使用量の削減に取り組めたが、ガソリン使用料削減の目標未達成については、営業の移動範囲が多くなったためによるもので、収益につながっている。また、軽油使用量削減の目標未達成についても移動距離と重量増加によるもので収益につながっている。

2、廃棄物排出量の削減

- ・自社排出産業廃棄物は分別の徹底資源化で排出量の徹底資源化ができた。

3、水使用量の削減

- ・各自の節水に対する意識と取組みよるもので、次年度も同様の取組を行っていく。

4、廃棄物リサイクル率の向上

- ・廃棄物処理依頼を受けた時に情報提供を行う。混合廃棄物の廃棄量が増加した為、リサイクル率が低下してしまった。

5、グリーン購入の拡大

- ・製品を購入する際、グリーン製品を探すことを意識したが、購入製品にグリーン対象製品が無い物が多かった。引き続き意識して取り組みたい。

次年度の取組内容

1.二酸化炭素の排出量削減

- エコドライブの再徹底 (全員)
- 使用していない場所の電源OFFの確認 (全員)

2、廃棄物排出量の削減

- 取組を継続維持する。 (全員)
- 社内に個人の廃棄物を破棄しない。 (全員)

3、水使用量の削減

- 取組を維持する。(全員)

4、廃棄物リサイクル率の向上

- 廃棄物処理依頼受け時に分別リストと手順情報を提供 (営業)
- し分別の徹底を依頼する。

5、グリーン購入の促進

- 物品購入時のエコ商品購入に努める。 (事務局)

Ⅷ、環境関連法規への違反、訴訟等の有無

1) 関連する法規

適用法令	確認事項	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	収集運搬車両の表示・書類携行	○
	収集運搬車両の書類備付	○
	マニフェストの送付・回付	○
	マニフェスト報告書の提出	○
	マニフェストの保存	○
	処理委託契約の締結・保存	○
	許可証の更新・変更	○
	産業廃棄物の適正処理 帳簿の作成・保存	○
フロン排出抑制法	廃棄、修理時登録者に依頼 フロン漏れ簡易点検実施	○ ○
消防法	消火器、火災報知器の設置 消防用設備等の点検と報告	○ ○
オフロード法	特定特殊自動車の使用	○
自動車NO _x ・PM法	事業者の責務 対策域内での使用、保有の負荷	○ ○
外部からの苦情、訴訟	なし	○

判定 ○: 遵守されている ×: されていない

2) 違反・訴訟の有無

上記環境関連法規等については、遵守チェック表により、確実に放棄を遵守していることを確認しました。
また、過去3年間、関係機関から、特に指摘、指導はなく、訴訟も1件もありませんでした。

Ⅹ、代表者による全体評価と見直しの結果

1. 実施事項の報告と評価・指示事項

	項目	項目	代表者の評価及び指示事項
1	環境目標の達成状況	目標達成状況	電力、自社廃棄物、水使用量等の社内のできる環境負荷削減は目標を達成できており評価できます。車両燃料の使用量について大きく増加していますが対売上において、目標を達成しており評価できます。廃棄物のリサイクル率については顧客の事情もあり、中間処分先を簡単には変更できませんができる限りリサイクル率の高い処分場を顧客に案内して下さい。
2	環境活動計画の実施及び運用状況	計画実施及び運用レベル	計画に従って無理なく実施・運用がなされていますので、今後も継続して運用・実施を行って下さい。
3	法的要求事項及び当社が同意するその他の要求事項の遵守	環境関連法規等の一覧表及び遵守状況確認結果	今後環境関連法規は、環境基準の改定や新設が増えると思われるので定期的に確認してコンプライアンスを順守して行動して下さい。
4	外部コミュニケーション	外部からの環境に関する苦情や要望と対応結果	外部からの環境に対する苦情や要望は今のところありませんが今後も苦情や要望が出ない様、配慮して行動して下さい。
5	是正処置及び予防処置の状況	不適合是正・予防報告	前回の是正措置及び予防措置により改善が進みました。今後も業務行動を定期的に確認して予防改善に努めて下さい。
6	代表者の前回の指示事項に対する対応状況	前回指示事項と改善状況	前回多かった水の使用量もすぐに対応を行った為、改善が見られました。

2. 評価と変更の必要性

		変更の必要性
1	環境方針	今のところ環境方針に変更の必要性はないと考えます。引き続き環境方針を継続して参ります。
2	環境目標・環境活動計画	現在の環境目標及びそれに基づいた環境活動計画については、概ね評価できますが今日、地球温暖化が原因の異常気象が頻発するようになってきており、より踏み込んだ環境目標及び環境活動計画が必要と考えますが、当面変更なしで継続する。
3	環境経営システム	設備の導入時に低公害車や低エネルギー機器を積極的に選択するなど、可能な限り環境にやさしい経営システムを取り入れて参ります。

※ 目標、計画、システムは当面継続で変更なし